

指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：令和7年度）

担当部署名	産業文化部商工政策課
評価対象期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日
評価対象年度指定管理料	27,410,000 円

1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	ワークセンター松阪
	所 在 地	松阪市上川町212番地1
	設置目的	雇用の促進と勤労者その他市民の健康・福祉の増進及び文化教養の向上を図る
	設備の概要	本館（1208.28㎡）：【1階】多目的ホール 452.60㎡【2階】視聴覚室 90.40㎡、研修室 79.38㎡、会議室 52.56㎡ 第一別館（336.24㎡）：【1階】第1会議室 44.85㎡ 【2階】第2会議室 90.40㎡ 第二別館（697.85㎡）：【1階】多目的ホール 120.90㎡、料理講習室 91.00㎡【2階】第一講習室 52.00㎡、第二講習室 52.00㎡、和室 42.73㎡、会議室 12.75㎡ 体育施設：多目的グラウンド（1面）5650.00㎡、テニスコート（4面）2840.00㎡

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	公益財団法人松阪市勤労者サービスセンター
	所 在 地	松阪市上川町212番地1
指定管理業務の内容		(1) 施設運営業務 ①施設運営（貸館業務） ②ワークセンター松阪事業の運営（各種講座、フリーレッスン等の開講） ③ワークセンターフェスティバル事業の運営 ④就労支援事業の実施 (2) 施設維持管理業務 施設の保守点検、備品管理、保守警備、清掃業務、修繕業務 の実施 (3) 自主事業の実施
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	（貸館業務） 3,528件、59,341人 （内個人利用 563件、1,580人） （講座・フリーレッスン）定期講座 41講座、延1,269回開催、延17,208人参加 短期講座 4講座、延38回開催、延642人参加 一日体験講座 3講座、延4回開催、延57人参加 フリーレッスン4講座、延88回開催、延4,814人参加 （会議等） フェスティバル実行委員会 2回、延87人参加 （ワークセンターフェスティバル） 約4,500人来場 定期講座発表会、講座生作品提示、体験コーナー等を開催 （就労支援事業）51回、延127人参加 若者就業サポートステーション・みえ、絵本カフェ、傾聴支援、ヨガ等の相談・講座を開催 （自主事業） こどもスクール2025夏休み編（講座）9講座 延263人参加 こどもスクール2025冬休み編（講座）11講座 延203人参加 キッズ教室 3講座（リズムダンス、ロックダンス、テニス）延951人参加 こどもキッチン 5事業 141人参加 松阪いきいきフェスタinワークセンター松阪 2回開催
	サービスの質の向上	令和6年度から引き続き「長期休業時こども預かり事業」で施設利用があるため、会議室の床を張り替えるなどし、こどもたちが過ごしやすい環境を整えた。また、口コミにより個人開催のマルシェや講座利用など営利目的での利用が増加していることから、センター主催の事業の日程を変更するなどし、できる限り一般の方にご利用いただけるよう調整を行い、利用の促進を図った。

	施設・設備等の維持管理	施設設備の維持管理を行うため、各施設の管理業務、芝生及び樹木管理業務、空調設備保守業務、電気保安業務、消防設備保守業務、自動ドア保守管理業務を委託により行った。 ※指定管理者が行った修繕 ・本館／冷温水発生器（火災検出器交換）、多目的ホール（カーテン交換／バレーボール用支柱金具交換／誘導灯防護柵交換）、2階研修室（ファンコイルユニットスイッチ修繕）、男子トイレ（小便器センサー交換／掃除用流し水栓交換）、女子トイレ（ドアクロージャー交換）、スタッフルーム（ドア交換） ・第一・第二別館／（キュービクル配線防水パテ修繕／自動火災設備受信機予備電池交換） ・第二別館／（2回放送設備修繕／クロス張替修繕／グラウンド側外灯タイマー交換） ・クラブハウス／男子トイレ（小便器センサー修繕） ・グラウンド／倉庫（鍵交換）、（水銀灯交換） ※行政が行った修繕 ・本館、第一・第二別館・クラブハウス／（カーテン入替） ・第二別館／多目的ホール（ドア修繕／入口床張替） ・テニスコート／ポスト及びネット取替修繕（1コート分） ・本館多目的ホール特定天井改修工事
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 10 年 3 月 31 日	

(単位：円)

			事業収支実績				
			令和5年度	令和6年度	令和7年度		
事業収支推計	収入	指定管理料	27,410,000	27,600,000	27,600,000	27,410,000	
		施設利用料	8,254,000	6,471,765	9,817,218	9,127,790	
		講座受講料収入	11,502,000	12,478,740	13,029,210	12,516,750	
		自主事業収入	2,194,000	2,039,620	2,378,570	2,290,370	
		受取負担金	1,000,000			998,000	
		雑収入	1,000	128	9,765	28,394	
		計 (A)	50,361,000	48,590,253	52,834,763	52,371,304	
	支出	人件費	6,309,000	5,216,935	5,594,963	5,800,172	
		事務費	28,128,000	25,735,131	27,547,327	28,732,214	
		事業費	15,924,000	17,642,497	19,782,690	18,844,726	
		計 (B)	50,361,000	48,594,563	52,924,980	53,377,112	
	収支差引額 (A) - (B)		0	△ 4,310	△ 90,217	△ 1,005,808	

3. 指定管理者業務運営項目別評価

評 価 項 目			指定管理者 自己評価		担当部署評価	
業務運営項目		内 容	採点	判定	採点	判定
管理業務の実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	4	A	5	A
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	5		5	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	5		5	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	5		5	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	4		4	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	5		5	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	4		3	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	4		5	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。（注1）	5	A	5	A
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないように、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	4		5	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	5		4	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	5		4	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	4		3	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	5		5	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	5		5	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	5		5	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	4	A	4	B
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	5		4	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	5		4	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるような良好な景観が保たれていたか。	5		5	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	5		5	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	4		4	

【（注1）のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-（2）の採点基準にて評価】

4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
【努力した点・成果等】 ○指定管理者事業3年目となる本年度は、自主事業において、過去2年間の実績を踏まえ、利用者満足度が高く、かつニーズがあるものに限定し事業を企画実施したため、利用の増につながった。特に長期休業期間（夏休み・冬休み）に実施する「こどもスクール」については、近隣の小学校へ募集チラシを配付し、情報提供することで、募集人数を超える申込みをいただき実施することができた。 ○令和7年11月17日～翌年3月末までの間、本館多目的ホールが特定天井改修工事により使用不可となったため、フリースペースをはじめとする人気の講座が開講出来なかったが、教室を変更したり代替講座を企画実施した。 ○就労支援事業については、令和8年1月から傾聴支援を取り入れ、一歩進んだ就職相談につながるよう環境を整えた。	【評価すべき点】 ○本館多目的ホールの特定天井改修工事という、通常運営が困難な4か月間の制約下において、貸館業務では多目的グラウンド等を定期的に利用する団体を増加させることで利用者の維持・拡大を図っていただいた。 また、各種講座においても会場変更や定員の見直し等の調整を適切に行い、中断することなく事業を遂行していただいた。 加えて、自主事業の利用拡大のための工夫を積極的に取り入れ、全体として大幅な利用人数の大幅増に繋がっていただいた。
【改善すべき点】 ○当施設は築35年が経過するなか、利用者が快適に利用いただけるよう努めているが、施設の老朽化が著しく頻繁に修繕が必要となってきたため、日々の点検と早期対応を図ることにより、昨年度に続き、安全で安心して利用できる環境を整えていく。 ○各種講座（定期講座等）において、施設の有効活用ができるよう企画しているが、ヨガ・フィットネス系の人気が高く使用できる部屋が限られている。今後は稼働率が10～20％前後の部屋の利用促進を図るため、講座内容を工夫して企画していく必要がある。また、利用者ニーズに合わない講座については、定期的に見直していく。	○本施設は建設から35年が経過し、老朽化により修繕が必要な箇所が増えてきている。大きな修繕についてはそのコストを行政が負担するというルールで指定管理をしているが、管理運営そのものは指定管理者が責任を持って行う必要があり、今後もさらに一層の注意を持って、利用者・職員の安全性を高めるとともに、快適な施設環境の維持に努められたい。 ○各種事業計画、報告書類等は作成後速やかに提出されたい。
【所属長意見（今後の方向性等）】 令和7年度は、本館多目的ホールの特定天井改修という制限があったものの、制度導入3年目として非常に安定した管理運営が行われた。特に、限られた条件の中で利用者ニーズに応じた事業選定と柔軟な代替策を両立させたことは、指定管理者の高いマネジメント能力を示している。昨年度に引き続き、収益の機会を逃さない運営姿勢と、地域への還元を意識した安定的な施設管理を実施いただいた。 今後も、利用者に寄り添った安定的な施設管理を継続するとともに、さらなる収益向上と利用者増を目指し、安定した事業展開に努められたい。	

点数	採点基準	
5	優良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されているとともに、独自の新たなサービスが提供されている。
4	良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている。
3	普通	協定等で定めた水準のサービスが提供されている。
2	やや劣る	協定等で定めた水準のサービスが一部提供されていない。
1	劣る	協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されていない。早急に改善が必要である。

評価	評価の判定基準
A	5が半分以上かつ残りも3以上
B	全てが3以上
C	2が含まれる
D	1が含まれる